

更なる救命率の向上を目指して 「ラピッド・ドクターカー」 の運用が始まります！

※車両画像はイメージです。



『ラピッド・ドクターカー』とは、

病院から医師、看護師、救急救命士などが救急現場に直接出動する際に使用する緊急自動車のことです。

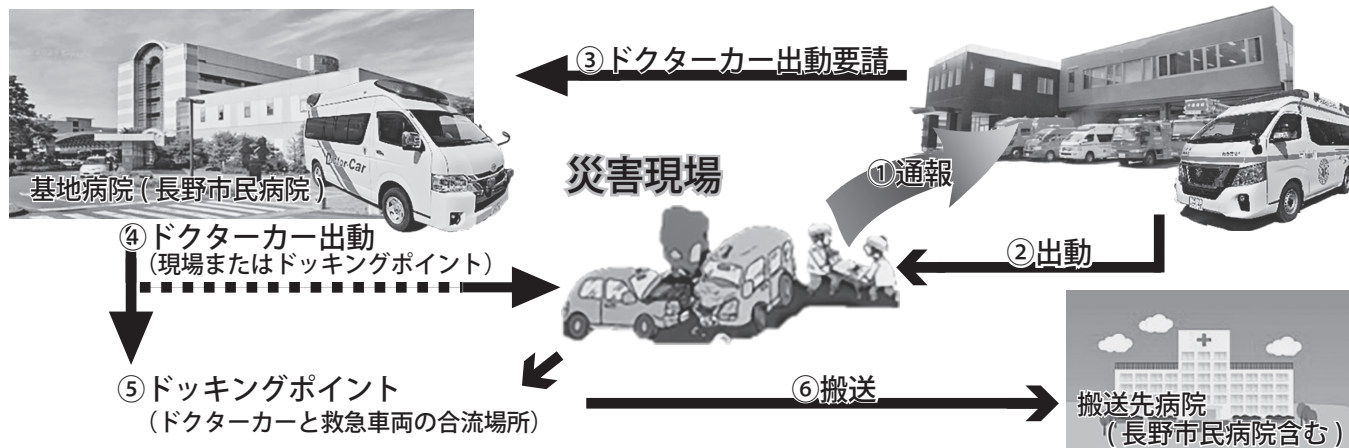
緊急度・重症度の高い傷病者に、一刻も早く救急現場で医師による医療処置を行うことで、決定的治療までの時間短縮、救急隊では実施不可能な高度な医療処置、診療方針の前倒しが可能となり、地域住民の救命率の向上、後遺症の軽減などにつなげることが目的です。

千曲坂城消防本部では、長野市民病院（長野市）と救急活動時におけるドクターカー運用の協定締結に向けた試行運用を3月下旬より開始します。

この協定により、更なる地域住民の救命率の向上、後遺症軽減など大きな役割となることが期待されます。

ドクターカー出動の流れ

千曲坂城消防本部



地方独立行政法人
長野市民病院
【お問い合わせ】
長野市民病院
長野市大字富竹1333番地1
経営企画課
TEL 026-295-1199(代表)



千曲坂城消防本部
【お問い合わせ】
千曲坂城消防本部 千曲市磯部1221
警防課
TEL 026-276-0119
千曲坂城消防本部ホームページ
<http://www.fdc.or.jp/>

令和8年 春の全国火災予防運動

3月1日(日)～7日(土)

令和7年度の全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

住宅防火 いのちを守る10のポイント

◆4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

◆6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

■住宅用火災警報器は10年を目安に取換えましょう！

○古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。設置した時に記入した「製造年月日」、または本体に記載されている「製造年」で確認してください。

○定期的に点検を実施しましょう。点検をしないと、正常に機能しない状態で放置されてしまう可能性があります。

○点検・交換の際は、けがなどに十分注意しましょう。

◎問い合わせ先 千曲坂城消防本部 予防課

TEL 026-276-0119

